学校番号	３０８

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新家庭基礎　パートナーシップでつくる未来　（実教出版）						
副教材等	2019 生活学 Navi　資料＋成分表　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち､その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし､その解決を目指して思考を深め、適切に判断し､工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉､衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
一学期	自分らしい人生をつくる・ささえあって生きる・子どもと共に育つ・衣生活をつくる・高齢社会を生きる	家庭科の学び方 ○自分を見つめる ・生涯発達の視点 ・青年期をどう生きるか ＊自己を知る ○目標をもって生きる ＊将来の生活を展望する ○家族・家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会 ○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ＊衣服を自分で直そう（5～6月） ○子どもを取り巻く環境 ○高齢社会の現状と課題 ○高齢者の心身の特徴 ○高齢者の暮らし ○高齢者を支える社会のしくみ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:青年期の生き方、家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力、子どもの発達と保育、高齢者の生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分、生涯発達の視点から家族・家庭と社会の関わり、子どもの発達と保育について家族や地域の生活、高齢者の生活について家族や地域の生活を見つめて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方、家族や家庭の在り方について検討し、子どもと適切に関わり子どもの健やかな発達を支え、高齢者と適切に関わり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:青年期の課題や人の一生について自分自身の問題として捉え、子どもの発達と保育・高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 製作計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 製作物 定期考査
二学期	共に生き、共に支える・食生活をつくる	○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ○よりよく生きるためにはどうしたらいいだろう？ ○現代日本の抱える問題を生活者の視点（子育て支援、高齢者福祉、防災・減災、社会保障　等）で捉える ○食生活の管理と健康 ○食事と栄養・食品 ○食生活の安全と衛生 ○日本人は何を食べてきたか？ ○日本の食問題	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動、共生社会と福祉について家庭や社会の一員として、食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:共生生活を成立させ、食事と健康・安全・環境に配慮した食生活、被服管理と着装、健康で快適な衣生活など、生活上の課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。	レポート 発表 自己評価 相互評価 授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 実習計画 実習レポート 実技テスト 製作計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 製作物 定期考査

二学期	食生活をつくる・衣生活をつくる	○調理の基礎 ＊調理実習3回 （10 月～2月） ○被服の機能と着装 ○被服の管理と計画 ＊衣服を自分で直そう （5～6月に実施） ○これからの衣生活 ○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	c：地域で行われているコミュニティ活動などについて情報を収集・整理・参加したり、健康・安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な技術を調理実習を通して、また、健康・快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付け、ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d：学習内容について理解し自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	
三学期	住生活をつくる・経済生活を営む・生活を設計する	○住まいは暮らしの器 ○子どもを取り巻く環境 ○賢い消費者になる ・ライフスタイルと家計管理や経済計画の重要性 ○成熟した社会とは（共生経済について考える） ・持続可能な社会をめざしたライフスタイル ○生涯を見通す ・自分のめざすライフスタイルとは？ ・生涯を見通した生活設計 ＊生活設計に必要な要素	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a：住生活、消費生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：住生活について課題を見いだし、消費生活と経済の計画・管理、生活設計について考え、工夫して表現している。 c：住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理し、消費生活、経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d：住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、住生活を主体的に営み、現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 自己評価 相互評価 定期考査

表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。